



市報

# むらかみ

MURAKAMI

No. 59

2013年

2



## 主な内容

- 男女共同参画社会の実現を目指して…………… 2～3ページ
- 新春文芸入選作品発表…………… 4～5ページ
- 所得税、市・県民税の申告が始まります…………… 6～8ページ
- 元気をくれた夢チームのメンバー…………… 10～11ページ
- お知らせ版

元気 “<sup>いー</sup>eまち” 村上市

-ひとが輝き集う優しさのまちをめざして-

# 男女共同参画社会の実現を目指して

## 第1次村上市男女共同参画計画を策定しました



昨年11月に策定した「第1次村上市男女共同参画計画」について、シリーズでお知らせしていきます。なお、計画の概要版を全世帯に配布しましたので、あわせてご覧ください。

### 計画策定の趣旨

社会情勢の変化とともに、人々のライフスタイルも大きく変化し、男女がともに個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現が必要不可欠となっています。

男女が対等なパートナーとして、お互いに認め合いながら、あらゆる分野に参画し、その個性と能力を十分に発揮できる社会をつくるための課題を解決していくことを目的として、村上市男女共同参画計画を策定しました。

なお、計画策定にあたっては、市民意識調査に基づく市民の意見や村上市男女共同参画計画策定委員会からの提言をもとに策定しました。



### 「元気“eまち”村上市」とは？

第1次村上市総合計画では、市民が親しめるキャッチコピー的要素を取り入れ、まちの将来像を「元気“eまち”村上市」と決めました。

- ・ 元気⇒活力、快適、産業振興、輝き、魅力
- ・ eまち(いいまち)
  - ⇒「住んでいいまち」(保健、医療、福祉、安全・安心、教育)
  - ⇒「訪ねていいまち」(自然、歴史、伝統、文化、人情)
- ・ e⇒Environment(環境)
- ・ e⇒Eternity(永続性)
- ・ e⇒Earnest(誠実)
- ・ e⇒Eco-economy(ecologyとeconomy: 環境的に持続可能な経済)

### 計画の概要

①計画の期間は、計画策定年度を含め、平成24年度から平成28年度までの5年間です。

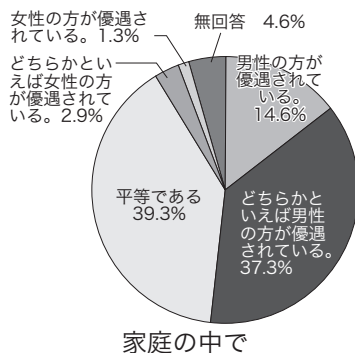
②村上市における男女共同参画社会のあるべき姿(基本理念)を、男女がそれぞれの個性を認め合いながら協力し、支え合えるまちを目指し、

男女がともに  
認め合い、支え合う、  
元気“eまち”村上市  
と決めました。



## 男女共同参画に関する意識調査(平成23年実施)から

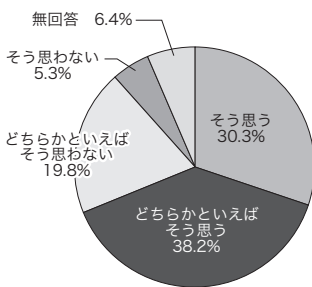
### ◆男女の平等感◆



家庭の中で

### ◆夫婦の家庭内の仕事分担◆

家庭・結婚生活において男女とも平等に家事・育児をする方がよいかとの問いに対して、68・5%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



問:男女とも平等に家事・育児をする方がよいか

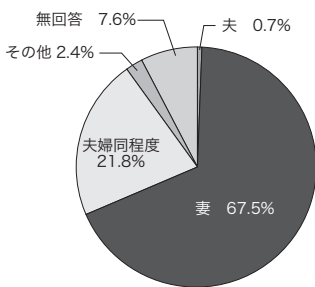
家庭における男女の平等感について「男性が優遇されている」と感じている人が50%以上を占めています。

また、地域社会や職場における平等感でも「男性が優遇されている」と感じている人が50%以上を占めました。



一方で、家庭・結婚生活の現実については、67・5%が「炊事・掃除・洗濯は妻が行っている」と回答しており、平等に家事・育児をする方がよいと思っ

ているにもかかわらず、炊事・掃除・洗濯は妻が行っているという現実が見られます。



問:家庭の中で炊事・掃除・洗濯をしているのは?

## 村上市における課題

意識調査の結果から、

- ・男性優位の固定的な性別役割分担意識や不平等感があり、解消に向けた取り組みが必要です。
- ・ドメスティック・バイオレンス(DV)やセクシャル・ハラメント(セクハラ)などのあらゆる暴力が重大な人権侵害であることを認識し、根絶に向けた取り組みが必要です。
- ・男女がお互いの身体的特徴を理解し、心身の健康についての正確な知識を身に付ける取り組みが必要です。
- ・男女がともにあらゆる分野に参画し、それぞれの視点による意見を反映させていくことが必要です。



・家事や育児を男女が協力して担っていく意識付けを行い、家庭の中での意識改革を進めることが必要です。

・性別にとらわれることなく均等な雇用と待遇が確保されるような働きかけが必要です。

このようなことから、固定的な性別役割分担や慣習の見直しに向けて、男女共同参画につ

て理解を深めるための施策を展開していく必要がありま



### 基本目標について

課題克服のため、計画では3つの基本目標を定めました。

#### ■基本目標Ⅰ■

「男女がともに認め合い、尊重し合えるまちづくり」

固定的な性別役割分担や慣習の見直しに向けて、市民一人ひとりが男女共同参画について理解を深めることができるような、意識啓発に向けた取り組みを進めます。



また、あらゆる暴力の根絶に向けた取り組みを進めます。

#### ■基本目標Ⅱ■

「男女がともに参画しやすいまちづくり」

政策・方針決定の場や地域活動への女性の参画推進に向けた啓発を進めます。

また、職場や地域における女性の人材育成を進めます。



#### ■基本目標Ⅲ■

「男女が家庭も仕事もともに担うまちづくり」

働く女性が増えていることから、家事や育児を男女が協力し担っていくという意識改革を進めます。



また、男女がともに仕事と家庭を両立させ、安心して子どもを産み育てることができるようを目指します。

この目標を達成するため、男女がともにあらゆる分野に参画できる社会の実現に向けた施策を着実に実施していきます。

今回は「計画の目標値」について紹介します。

#### ●問い合わせ

政策推進課企画政策室  
53・2111 (内線532)



# 新春文芸

## 入選作品発表

中央公民館が募集した「新春文芸」に、たくさんのご応募いただきありがとうございました。審査の結果、次の作品が入選しました。

(全応募作品を載せた作品の一覧表は各地区公民館でご覧いただけます。また、市ホームページにも掲載しています。)

●問い合わせ 中央公民館 ☎72-6700

# 短歌

「新春雑詠」

阿部昌彦・選

## 特選

農といふ終わらなき業われにあり今年こゝろの作付け描く初春はつはる

五十嵐 明子

【選評】大地に根付く愛の深さ、「われにあり」に農業への誇りがある。

## 佳作

元朝がんちやうの静寂を破り声高こゝろな産声を上あぐ生せいに幸あれ

萩原 智子

【選評】二重のお祝い、産声に旺盛な生命の誕生。結句の素直さが力強い。

片使かたりなれど孫こに出いす初春はつはるの文書ふみく時の小こさき幸せ

山村 妙

【選評】微笑ましい。孫は幼いから「片使り」となり、優しさが染み渡る。

威勢いせい良よくフェリーのハッチは開かれて年初あはれの客きやくへタラップ渡す

長浜 武士

【選評】「威勢よく」に集約される新春始動。「年初の客」の笑顔も浮ぶ。

賀状がじやうにはリボンつけたるへびもいて我が還暦まゆろの癸巳年みづのとみどし

鈴木 正子

【選評】洒落しゃれたへびは還暦も祝う。古風な結句に新年への感慨ひとしお一入ひとしおである。

# 俳句

「新春雑詠」

斎藤謙歩・選

## 特選

九十路でも夢もち紅引き初鏡

加賀 シヅ

【選評】老いてなお生への執着をもつ、うらやましく素晴らしい人生です。何よりもご多幸と作者の健吟を祈ります。

## 佳作

年新一日五千歩われに課し

前川 有三

【選評】健康第一の大目標だ。恐らく素晴らしい一年が待っているように。

海に出る三面川の淑気かな

佐藤さき子

【選評】三面川の河口に立つて母なる川の洋々たる流れに時を忘れる。一面に淑気が漂う。荘厳なまでにし。

父母に似し笑顔が揃う今朝の春

河村トキ子

【選評】両親と顔立ちのよく似た子どもたちがお正月の茶の間に顔を揃える。健康な明るい一家の新春の姿だ。

夫は喜寿金婚迎え祝箸

加藤 博子

【選評】夫は喜寿、そして夫婦は今年金婚を迎える。過ぎし日を思いながら二重の喜びに浸る。お祝いの膳に読者も心から祝福を送ろう。

# 川柳

「新春雑詠」

川村雄一・選

## 特選

初夢や日東道が握手する

板垣 光行

【選評】日東道が早くつながってほしいとの率直な願いが出ている。初夢が正夢になることを切に願いたい。

## 佳作

帰省客今年初めの賑やかさ

高橋 貞子

【選評】普段は老夫婦だけの静かな生活へ子や孫が久しぶりに帰って来て賑やかなお正月。だんらんを取り戻した家族の様子がよく出ている。

勘九郎父の死秘めて春に舞う

松浦 昭一

【選評】五十代の若さで亡くなった十七代中村勘三郎。その父の死に目にも遇えず悲しみを乗り越えて舞台に生きる六代目勘九郎。伝統を引き継ぐ芸の厳しさがそこにある。

鮭戻るお前も戻れ父母の声

田邊 英夫

【選評】鮭の町村上ならではの句である。親から遠く離れて暮らす子どもと鮭をダブらせて親の気持ちが率直に表現されている。

達者だよ手書きコメントある賀状

平山 健

【選評】印刷だけの年賀状の多い中、一言自筆のコメント。温かいものごこみ上げる親しさがある。



2月18日(月)  
～3月15日(金)

所得税、市・県民税

# 申告が始まります

所得税、市・県民税の申告の時期となりました。期間中は、申告会場が大変込み合いますので、スムーズな申告が行えるよう、事前に必要な書類を揃えて申告においでください。

●問い合わせ  
所得税に関すること  
村上税務署 ☎53-3141 (自動音声案内)  
市・県民税に関すること  
税務課市民税係  
☎53-2111 (内線221・222)

## 所得税の確定申告

### ■確定申告が必要な人

①事業所得(営業、農業)や不動産所得などがある人で、昨年中の所得金額の合計額が、基礎控除その他の所得控除の合計額を超える人

②土地や建物などの売却による所得がある人

③昨年中の給与の収入額が2千万円を超える人

④給与所得のほかに20万円を超える所得(配当、家賃など)がある人

⑤給与を2か所以上から受けていて、年末調整されなかった給与の収入金額とその他の所得金額の合計額が20万円を超える人

※給与収入だけの人で、すべての給与の収入金額から社会保険料控除など一定の所得控除を差し引いた金額が150

万円以下の人は、申告する必要はありません

### ■所得税の還付が受けられる人

源泉徴収税額がある人で、次のいずれかに該当する人。

①給与所得者で、雑損控除、医療費控除、寄付金控除や住宅借入金等特別控除などを受けることができる人

②平成24年中に退職した後、再就職せず、年末調整を受けなかった人

③所得が少ない人で、配当所得や原稿料などがある人

④公的年金等受給者で、所得金額の合計額から、基礎控除にその他の所得控除を追加した合計額を差し引いて税額を計算した結果、源泉徴収税額より少なくなった人

※申告のときに必要な書類などは1月15日号の市報をご覧ください

## 所得税の確定申告は e-Tax をご利用ください

イータックス



e-Taxのいいところ

e-Taxを利用するには、

- ・利用環境の確認
- ・電子証明書の取得
- ・電子証明書の登録・再登録
- ・ICカードリーダーの購入

が必要です。

詳しくはe-Taxホームページをごらんください。

イータックス で 検索  
<http://www.e-tax.nta.go.jp>

●国税庁ホームページから電子申告  
自動計算で便利な国税庁のホームページの「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータはインターネットを利用して提出(送信)できます。

●最高3,000円の額控除  
平成24年分の所得税の確定申告を本人の電子署名および電子証明書を付して、申告期限内にe-Taxで行うと、所得税額から最高3,000円の控除を受けることができます(平成19年分から24年分の間でいずれか1回)。

●添付書類を省略  
所得税の確定申告をe-Taxで行う場合、医療費の領収書や源泉徴収票等は、その記載内容(病院などの名称・支払金額等)を入力して送信することにより、これらの書類の提出または提示を省略することができます(法定申告期限から5年間保管してください)。

●24時間いつでも利用可能  
所得税の確定申告期間中は、24時間e-Taxの利用が可能です(メンテナンス時間を除く)。

●還付金がスピーディー  
e-Taxで申告された還付申告は早期処理しています(3週間程度に短縮)。

# 市・県民税の申告

左図にある設問に答え、どちらかの矢印の方へ進んでみましょう。

この場合、前ページの「確定申告が必要な人」でなくとも、「申告してください」に該当する人は、市・県民税の申告をしてください。

ここから

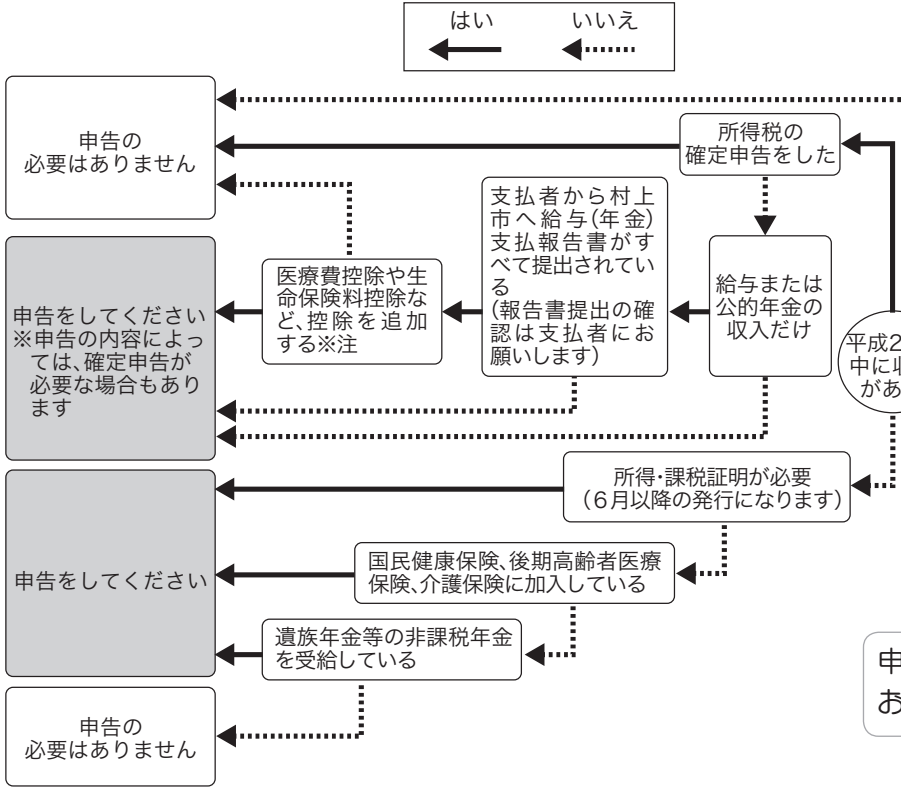
平成25年1月1日現在村上市に住所がある

平成24年中に収入がある

申告はお早めに



## 申告が始まります



注) 特に年金収入のみの人で、65歳以上で148万円以上、65歳未満で98万円以上の収入がある人は追加する控除(生命保険、扶養など)がないか、いま一度ご確認ください。

## 事前に資料の整理を

混雑緩和のため、次の資料はあらかじめ作成して申告においでください。

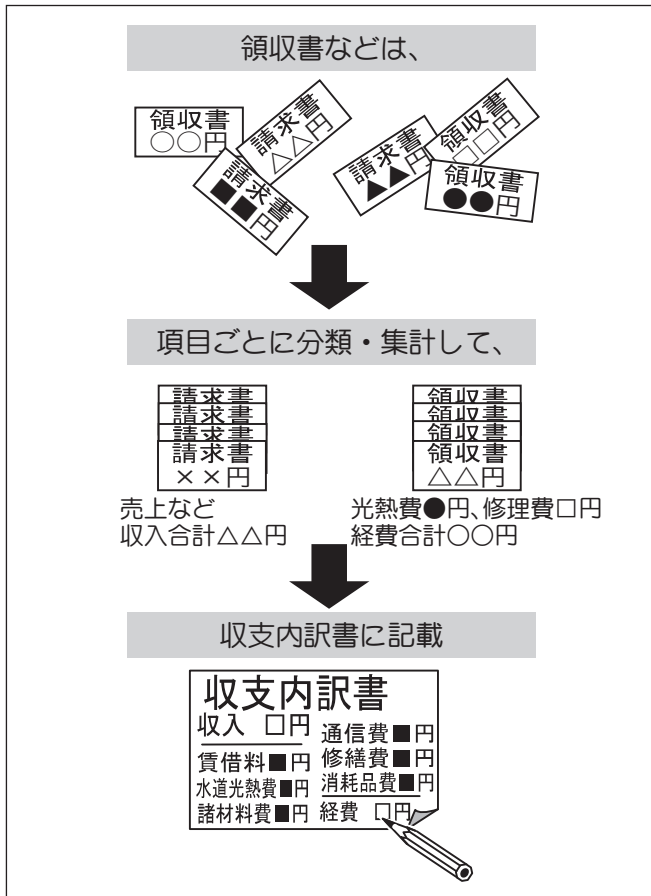
### ■ 収支内訳書

営業、農業などの事業所得や不動産所得を申告する場合には、収支内訳書を作成してください。  
※左図を参照

### ● 医療費の内訳

医療費控除を受ける人は、支払った医療費の合計額を計算してください。

## ■ 収支内訳書の作成



事前資料が作成されていない場合は、会場で資料作成をしていただき、再度お待ちいただきます。  
申告会場での待ち時間を減らすため、皆様のご理解とご協力をお願いします。



## 税理士事務所における還付申告無料相談

関東信越税理士会村上支部では、下記の日程で給与所得者や年金所得者で医療費控除を受ける人、年の途中で退職した人などを対象に還付申告の無料相談を行いますので、ご利用ください。

※予約が必要です。事前に税理士事務所へ連絡してください

●2月6日(水)	穴戸由喜夫	税理士事務所	村上市岩船横新町2-2	☎56-7708
	瀬賀 良	税理士事務所	村上市福田349	☎66-5128
	伊藤三五郎	税理士事務所	関川村下関12-2	☎64-1486
●2月7日(木)	鈴木 信嘉	税理士事務所	村上市羽黒口10-31	☎52-3326
	村山 誠	税理士事務所	村上市山居町二丁目5-26	☎53-2620
	金子 謙	税理士事務所	村上市堀片3-29	☎53-2218
●2月8日(金)	種部 義秋	税理士事務所	村上市上片町2-22	☎53-0366
	野本 恒夫	税理士事務所	村上市田端町13-19	☎53-7775

# 2月は「高齢者見守り強化月間」です

冬期間に雪が降り始め積雪が多くなると、ひとり暮らしの高齢者などは外出しづらくなり、家に閉じこもりがちになります。雪で足元が悪い上、高齢者用の押し車や高齢者の乗る電動カートなどが動けなくなるためです。

高齢者だけの世帯では、冬場は日用品の買い物も困難になり、外に出て近隣の人や友人と会う機会も減ることから、日ごろの生活の様子がわかりにくくなります。

現在、市内には高齢者のみの世帯が約5,500世帯あります。高齢者が、安心して住み慣れた地域に住み続けることができるよう、町内や集落など地域の皆さんで、声かけやちょっとした除雪の援助などの温かなご支援をお願いします。

### ☞ 簡単支援のススメ

- ・「ついでに」ゴミだしの協力が大変大きな支援になります
- ・除雪車が通った後は、お互い様の心で玄関など出入り口の除雪支援をお願いします
- ・配布物、回覧板などの際は、声かけのチャンスです
- ・夕方、家の明かりが点いているか、の確認もさりげない思いやりです
- ・「風邪ひいてませんか」といったニッコリ笑顔と声かけだけでも大きな見守りです

お近くの高齢者に、いつもと様子がおかしいなど何らかの異変を感じた場合には、ご連絡をお願いします。

●問い合わせ 介護高齢課高齢福祉係 ☎53-2111 (内線367)



# パブリックコメント(市民意見公募)の手続きを行います

市では、2月1日(金)よりパブリックコメント制度を実施します。

この制度は、市の政策形成過程において公正性の確保と透明性の向上を図るとともに、市民の市政への参画を促進し、市民との協働によるまちづくりを推進することを目的としているもので、その手続きは次のように進められます。

【パブリックコメント制度の流れ】

計画などの案の作成 → 案の公表 → 意見を公募 → 意見を考慮 → 結果の公表

今回は、次の案件について広く市民の皆さんから意見を募集します。お寄せいただいた意見を出来る限り反映させていきたいと考えていますので、多数お寄せくださるようお願いいたします。

## ■案件名

村上市空き家等の適正管理に関する条例(案)

## ■概要

管理不全となる空き家等の発生を抑制するため、所有者等の責務を明確にし、市の対策や手続きを体系化するものです。

## ■意見を提出できる人

市内在住の人、市内に勤務・通学している人、市内に事務所または事業所を有する個人および法人その他団体

## ■募集期間 平成25年2月1日(金)～14日(木)

## ■条例案と資料の閲覧

条例案と資料は、市民課および各支所市民生活課の窓口で閲覧できます。そのほか、市ホームページ(「パブリックコメント」で検索)でもご覧いただけます。

## ●問い合わせ 市民課生活人権室 ☎53-2111(内線281)

## ■提出方法

意見書(様式があります)に住所、氏名、電話番号、意見を記入し、次のいずれかの方法で提出してください。

※意見書は、市民課および各支所市民生活課にあります。また市ホームページからダウンロードすることもできます

- ①持参 市民課生活人権室または各支所市民生活課までお願いします。
- ②郵送 〒958-8501 村上市三之町1番1号 村上市市民課 生活人権室 あて
- ③ファクシミリ FAX 53-2541
- ④電子メール [shimin-ji@city.murakami.lg.jp](mailto:shimin-ji@city.murakami.lg.jp)

## ■その他

お寄せいただいた個人情報は、他の目的には使用しません。なお、個別の回答は行いません。

## 新潟県交通災害共済の会員募集について

会員が、交通事故に遭われた場合に見舞金を支給する、県内全市町村で運営する県民相互救済の制度です。自転車での自損事故も見舞金の対象となります。この機会に、ぜひご加入ください。

### 加入できる人は

- ・新潟県内の市町村に居住している人
- ・新潟県外に居住していても新潟県内の家族と生計が同一である人

### 会費や見舞金額

- ・会費 1人 年額500円
- ・見舞金額 交通災害に遭われた場合、3万円～150万円の見舞金が支給されます。  
(実際の治療日数が7日以上で請求できます)

### 共済期間

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

※4月以降に申し込んだ場合は、その翌日から平成26年3月31日までとなります

### 申し込み方法

2月中旬にパンフレットと加入申込書を各世帯に配布します。加入を希望する場合は、加入申込書に必要事項を記入の上、会費を添えて市内金融機関や町内会または市役所の担当窓口でお申し込みください。

※配布時期や取りまとめ方法など、町内や集落によって異なる場合があります。詳しくは担当までお問い合わせください

- 問い合わせ 市民課生活人権室 ☎53-2111(内線286)  
または各支所市民生活課市民生活室





# 元気な顔ぶれ

ドリーム

# 夢 チームのメンバー



●問い合わせ  
生涯学習課  
スポーツ推進室  
☎72-6886

## ■豪華な顔ぶれ

「宝くじスポーツフェア」はつらつママさんバレーボールin村上」が、昨年12月22日と23日に神林総合体育館で開催されました。

このイベントは、財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、公益財団法人日本バレーボール協会の協力の下、同協会が推薦する世界大会やオリンピックの出場経験者で編成する「ドリームチーム」と地域のママさんバレーボールチームが、親善試合やバレーボール教室などを行い、地域の活性化とまちづくりに寄与することを目的に全国各地で開催されています。

洋の魔女」と呼ばれた河西昌枝さんやミュンヘンオリンピック金メダリストの大古誠司さん、地元新潟県出身の川合俊一さんと山下美弥子さん、テレビなどでもおなじみの吉原知子さん、大山加奈さんなど総勢12人。世界で活躍した元日本代表選手たちが、一流の技術と気さくな笑顔で参加者や訪れた大勢の観客に元気を与えてくれました。

## ■観客も大興奮

22日は、午後ママさんチームの選手やスポーツ少年団・学校の指導者を対象とした指導者クリニックとふれあい懇親会が行われました。

23日は、午前小学生やママさん選手が参加して、バレーボール教室が行われ、基本動作

や上達のためのコツを学びました。

午後からは、スパイクでボールを的に当てるアトラクションや地域の選抜ママさんチームとの親善試合、豪華商品が当たる抽選会などが行われました。特に親善試合では、ドリームチームの一流のプレーに会場に詰めかけた約1300人の観客も大興奮。会場は最後まで盛り上がりました。



試合後、談笑するドリームチームのメンバー



勢揃いしたドリームチームのメンバー  
(左から)

- 大古誠司さん
- 河西昌枝さん
- 江上由美さん
- 山下美弥子さん
- 川合俊一さん
- 高橋有紀子さん
- ヨーコ セッターランドさん
- 永富<sup>あき</sup>有紀さん
- 辻 知恵さん
- 吉原知子さん
- 落合真理さん
- 大山加奈さん



ドリームチームとのふれあい懇親会は、和気あいあいとしたものになりました



実際にトスをあげて指導してくれたドリームチームのメンバーたち。小学生たちは真剣に見聞きしていました



大山さんから、トスの仕方をやさしく教えてもらいました



あこがれの選手たちと練習するママさんチーム。少し緊張ぎみでした



大古さんと川合さんのサーブ指導は、笑いが絶えませんでした



大勢の観客の前で熱戦を繰り広げた親善試合。ママさんチームは健闘しました

INTERVIEW

良い家庭をつかってほしい



村上の人たちと交流できてうれしかったです。  
ママさんたちには、家族に感謝しながらバレーボールを続けてほしいし、そのママの姿を見て子どもが感動できるような家庭環境を築いてほしいですね。

ドリームチームメンバー  
ソウル五輪出場

山下 美弥子さん

貴重な体験ができて良かった



指導者クリニックから親善試合まで参加しました。憧れのメンバーと試合ができ、指導もしてもらって、とても楽しかったです。  
「また、がんばろう」と思いました。

参加チーム 小野寺千春さん(左:松波町)  
村上WAVE 陣谷 由美さん(右:岩船上大町)

# 第58回 村上市

# 元旦マラソン大会



今年の元旦マラソン大会には、1,633人の参加がありました。参加者は、激しく降る雪の中を、今年1年のそれぞれの想いを胸に、ゴール目指して懸命に走っていました。

## 大会結果

※申し込み時に市内に住所があった入賞者（氏名上の数字は順位）を部門ごとに掲載しています。小学生の種目は10位以内、中学生以上は8位以内です

なお、2 km男子小学生低学年、5 km男子50歳〜59歳、10 km男子40歳〜44歳の部門には、入賞者がいなかっただため省略しました。

- 1 km ペアマラソン**
  - 1 2 8 組参加
- 2 km ペアマラソン**
  - 1 0 9 組参加
- 2 km 女子小学生低学年**
  - 1 中山 亜季璃（大須戸）
  - 2 佐久間 穂香（藤沢）
  - 3 佐藤 尚（関口）
  - 4 鈴木 瑚子（高根）
  - 5 平野 花南（田端町）
  - 6 楠田 歩生（田端町）
  - 7 山口おとは（羽黒町）
- 3 km 男子小学生高学年**
  - 1 相馬 迅（高根）
  - 2 小田 祐樹（山辺里）
  - 3 辻 椋大（早稲田）
  - 4 中山 純静（大須戸）
  - 5 工藤 飛鳥（瀬波上町）
- 3 km 女子小学生高学年**
  - 1 近 彩乃（山田）
  - 2 志村 桜姫（北新保）
  - 3 小野 玲（山居町一丁目）
  - 4 大滝 桃香（瀬波中町）
- 3 km 男子中学生**
  - 1 高橋 和（大場沢）
  - 2 東海林 悠哉（飯野三丁目）
  - 3 佐藤 遼（松原町二丁目）
  - 4 堀田 海都（鍛冶町）
  - 5 鈴木 明晴（長政）
- 3 km 女子中学生**
  - 1 近藤 真咲（浜新保）
  - 2 倉松 奈々子（緑町一丁目）
  - 3 川村 満里乃（鍛冶町）
- 3 km 女子高校生以上**
  - 1 中澤 陽子（二之町）
  - 2 太田 和可奈（檜原）
  - 3 木村 和秋（大欠）
- 3 km 男子50歳以上**
  - 1 齋藤 忍（岩沢）
  - 2 新井田 和信（大欠）
- 5 km 男子中学生**
  - 1 高橋 僚（塩町）
  - 2 見原 慧（南町二丁目）
  - 3 金子 拓矢（佐々木）
  - 4 金子 尚矢（佐々木）
- 5 km 男子29歳以下**
  - 1 富樫 竜太（早稲田）
  - 2 近 健人（山田）
  - 3 齋藤 瑞生（岩沢）
  - 4 鈴木 純（高根）
  - 5 関口 進也（新町）
- 5 km 男子30歳〜39歳**
  - 1 宇鉄 広一（北大平）
  - 2 井上 正（朝日中野）
  - 3 本間 洋行（浜新田）
- 5 km 男子40歳〜49歳**
  - 1 木村 晴夫（瀬波中町）
  - 2 内山 武夫（海老江）
  - 3 山口 聖奈（肴町）
  - 4 佐藤 桂子（日下）
  - 5 山脇 悠（松原町四丁目）
  - 6 小田 恵子（岩船上浜町）
  - 7 小野 澄江（坪根）
  - 8 鈴木 信子（長政）
  - 9 渡邊 七子（切田）
  - 10 工藤 恵美子（岩船上大町）
- 5 km 男子60歳以上**
  - 1 田中 諒兵（若葉町）
  - 2 中澤 洸（二之町）
  - 3 大倉 慎（岩船駅前）
  - 4 山田 丈（坂町）
  - 5 中山 淳一（大須戸）
  - 6 齋藤 正幸（藤沢）
  - 7 長谷川 伸次（二之町）
  - 8 田中 克幸（山居町一丁目）
  - 9 井上 美代子（春木山）
  - 10 山脇 牧子（松原町四丁目）
- 5 km 女子39歳以下**
  - 1 山脇 牧子（松原町四丁目）
- 5 km 女子40歳以上**
  - 1 山脇 牧子（松原町四丁目）



消防士の皆さんも参加



# スポーツで元気いまち村上

## 第11回

● 問い合わせ

生涯学習課

スポーツ推進室

☎ 72 - 6886

これまで10回にわたり、スポーツ振興基本計画の実施状況についてお知らせしてきました。

この計画は、平成22年度から平成28年度までの7年間を計画期間とし、「スポーツで元気いまち村上」の基本理念に基づき、達成目標を「成人で週1回以上スポーツ活動をする人の割合を50%」としています。

目標を達成するために、これまで紹介した各種事業に取り組んでいるところですが、今月号では、今後の取り組みについて紹介します。

### 厳正な進捗管理

この計画の進捗状況の把握、評価見直しを行うために、スポーツ団体や施設管理者、利用者の10名で「村上市スポーツ元氣プラン推進会議（以下、推進会議）」を設置しました。

この推進会議では、単なる進捗状況の把握や事業評定に止まらず、健康問題や少子高齢化などの現代の課題を解決して行く事業や多様化する市民ニーズに対応した事業など、常に時代の変化に順応した事業開発を行う評価から

次の発展につなげることができるような進捗管理に努めています。

そのためには、本年度は前期計画の最終年としての総合的評価を実施して平成25年度からの後期実施計画を作成しています。

### 関係団体との連携強化

現在、本市のスポーツ事業は、行政やスポーツ団体が、それぞれの分野で活動しているものと、連携して実施しているものがあります。

今後は、行政とスポーツ団体とが有機的につながり、効果的かつ効率的な事業を実施できる環境を整備していきます。同時に、生涯スポーツと競技スポーツがうまく循環する社会を築くためにも、またスポーツが文化としてまちの活性化に貢献するためにも、団体同士の融合やまちづくり組織との連携を図る必要があります。

### 元気いまち村上の実現

昨年12月に元全日本バレーボール選手が来市し、「はつらつままさんバレー

ボールin村上」が開催されました。来市した選手が、本人のブログに当日の様子を掲載され、これに対して市民が「生で選手を見ることができて感動し、これで明日からの練習また頑張れます。」といったコメントを寄せていました。

スポーツは、「する人」には爽快感や充実感を、「みる人」には感動や夢を、「させる人」には達成感を与え、すべての人を引きつける魅力を持っています。また、それは生きる力と希望、明日への活力の源となる人類共通の文化でもあります。

元気いまちをつくるには、元気のいい人づくりが不可欠です。スポーツ活動が市民の元気づくりに寄与するためには、一人でも多くの市民がスポーツ活動に取り組むことができる機会を提供し、スポーツの楽しさや意義が実感できるような活動を充実させていくことが大切です。

これからも、元気いまち村上の実現に向けて、スポーツ振興基本計画を効果的かつ効率的に実行していきます。



スポレック教室の様子



グラウンドゴルフの様子

# むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

和やかな中にも真剣に

11月28日(水)

村上市社会福祉協議会朝日支所



関川村と朝日地区の「地域の茶の間」の交流会が朝日みどりの里で行われ、約90人が参加しました。スライドや太鼓の実演で各活動の紹介から意見を交わしたあと、村上市レクリエーション協会の平山健さんの実技指導で、音楽に合わせた簡単な運動を行いました。笑いが絶えない和やかな雰囲気の中、茶の間にそのまま活かせる実践向けの内容に、参加者は真剣に取り組んでいました。

## 火も伝統も絶やさぬように

12月31日(月) 搭下集落



大晦日の晩、集落の金峰神社がまつられる金峰山の山頂から五穀豊穡と家内安全を祈願し、大きなたいまつを手を下山してくる「サイトウサマ」と呼ばれる行事が行われています。たいまつに使う力やは、5月の道普請(集落の人が共同で道を整備すること)の際に神社まで運び、年末まで乾かしたものです。集落の富樫功一さんは「これをしないと新年を迎えられない。後継ぎが少なくなってきたが、山に登れる限りにこの伝統を絶やさぬようにしたい」と話していました。

## まさかの入賞にびっくり

12月2日(日) 少林寺拳法全国大会



横浜市で開催された「2012年少林寺拳法全国大会inかながわ」に一般女子組演武初段の部で出場した五十嵐美月さん(下渡 写真左)と岩倉華子さん(岩船上浜町 写真右)が、8位入賞を果たしました。入賞した2人は「びっくりした。まさか入賞するなんて思わなかった」と話しながらも満面の笑顔を浮かべていました。

## お遊戯会に卒園生をご招待

12月6日(木) 館腰保育園



毎年恒例のお遊戯会。今年は、地域の皆さんと昨年卒園した小学1年生の児童たちを招いて開催されました。招かれた児童たちは「招待ありがとう」と笑顔でお遊戯会を楽しんでいました。

演目では、おじいさんとおばあさん(先生)が野菜の種をまき、園児がふんするかわいい野菜を保護者が収穫するという演出もあり、笑顔が絶えないお遊戯会でした。

## 「あらかわみらいファンド」を活用

12月6日(木)～1月31日(木)

あらかわ地区まちづくり協議会



自主的に活動する団体を応援しようと創設された「あらかわみらいファンド」。応募団体の一つであるECHIGO歩こう会が、このほど地域住民の健康に寄与するため「初心者ウォーキング教室」を開催しました。同会は、このファンドを活用して

血压測定器を購入し、事前の打ち合わせなどを重ね、参加者へのよりきめ細かい対応に備えたものです。

応援した協議会は、「今後もファンドを活用した事業が展開され、地区の活性化に繋がれば」と期待しています。



## まじのお獅子様は生きてるよ

1月1日(火) 浜新保集落



江戸時代からの歴史ある「獅子舞」を今に伝えている「浜新保獅子舞保存会」。元日に笛と太鼓を響かせながら集落の一軒一軒を回り、新年を祝います。一統礼の会場では、会長の鈴木誠さんが集落の招福除災を祈念し、30分間舞い続けました。集落の皆さんは「この獅子舞はお獅子様が生きているようだ」と喜び、鈴木さんも「集落の人も楽しみにしている。体が続く限り舞い続けたい」と汗だくになりながら話してくれました。

## 地域のできめ細かな除雪

1月13日(日) 平林集落



集落の人が力を合わせ、大型除雪機が対応できない集落センター前などの除雪を行おうと、市の助成制度を活用し、小型除雪機を購入しました。

区長の小野篤さんは「これを期に、冬でも地域活動が活発にできるよう期待しています」と話していました。

## 伝統行事を通じ、世代間交流

1月13日(日) 荒島集落



小正月の伝統行事である「団子飾り」が行われました。

子どもからお年寄りまで大勢が参加。昨年「集落児童農園」で、子どもたちが栽培したもち米を使って作った色とりどりの団子を水木の枝に飾りつけました。

区長の齋藤富一さんは「伝統行事などを通じ、世代間の親睦を深め、集落の活性化を図りたい」と話していました。

## 大きなさいの神で今年も元気に

1月14日(月) 指合集落



昨年まで集落内の各組で開催していたさいの神を、集落のみんなでやるうと今年から1カ所にし、集落の大勢の人の協力により立派なさいの神ができました。夕方、点火されると火は威勢よく燃え上がり、子どもたちは大はしゃぎ。時折響き渡る竹の破裂音に驚きながらも、今年も健康に過ごせるように願い、持ってきた餅やするめを焼いていました。また、お汁粉も振る舞われ、美味しく食べていました。

## 「いわふね夢カフェ」岩船に必要なこと・もの

1月14日(月) 岩船まちづくり協議会



岩船のまちづくりについて話し合う会として、スタッフを含め、約40人が参加して開催されました。クレープやコーヒーを片手にリラックとした雰囲気の中、岩船大祭のあり方や「岩船カフェ」の復活、婚活などさまざまな提案がだされました。

参加者から継続の声もあつた夢カフェ。同協議会では、今回出された提案を踏まえて役員会・運営委員会で、今後の取り組みにつなげていく予定です。

## 村上の食で元気に長生き



市では、『健康むらかみ21計画・食育推進計画』に基づき、健康作りのための食生活向上や食文化の伝承、地産地消の推進など食を通じた社会づくりを目指しています。

今回は、各地域で食育活動を進めている食生活改善推進委員の取り組みを紹介します。



食育普及マーク ショクビー

### 村上地区 10月28日(日) 村上南小学校文化祭

村上地区では、村上南小学校の体育館に「朝食を食べよう!」と「まんまスティックを使って地産地消推進」という2つのテーマの食育コーナーを設けて、主菜副菜のそろった朝ごはんのモデル食を展示しました。訪れた若い世代のお父さん・お母さんたちに朝食の大切さをPRしました。



### 荒川地区 11月3日(日) 荒川地区文化祭

荒川地区では、地区の推進員が作った健幸弁当150食と手作りおやつ、3種類の味噌汁を訪れた人たちに試食してもらい、手作りの良さ・減塩の大切さをPRしました。いずれも大好評で、特に味噌汁の試食では、普段飲んでいる味噌汁の濃さを考える良い機会になりました。



### 神林地区 11月4日(日) 神林地区文化祭

神林地区では、好評をいただいている無料の試食弁当を作って地域の皆さんに食べてもらいました。今年は、「秋野菜のいろいろ弁当」を考案。野菜をおいしくたっぷり食べられるよう工夫した弁当に地域の人たちも喜んでいました。



### 朝日地区 11月3日(日) 朝日地区文化祭

朝日地区では、「毎日食べよう野菜350g」をテーマに、村上市出身で新潟市在住の野菜ソムリエ 木村正晃氏をお招きして「ベジタブルパフェ」の実演を行いました。

参加者からは、「子どもの手本となるよう、自分たちが積極的に野菜を摂るようにしたい。」という声がありました。野菜を食べることの大切さを再確認した1日となりました。



### 山北地区 11月11日(日) さんぼく祭

山北地区では、年代別「野菜たっぷりバランス弁当」の展示と「減塩メニュー」の試食をしてもらいました。

推進員の皆さんは、会員研修で学んだ野菜をたくさん食べるための工夫や減塩レシピ、バランス弁当の作り方などを地域の人たちに伝えました。





# 包括支援センターだより

## 認知症の人を地域で支えるために⑨ ～認知症の高齢者への上手な接し方(2)～



前回に引き続き、認知症の人への接し方を紹介します。認知症の症状が進行しても、感情やその人らしさは残っています。介護者が認知症の人の気持ちに寄り添って、不安や苦しみ、孤独感などを和らげる関わり方や環境づくりができれば、症状も軽減するといわれています。

### 事例1

「今日は何日ですか」 — 同じことを何回でも繰り返して聞く

《間違っただ対応の例》

「だから×日だって言ったでしょ。」とつっけんどんな受け答えをすると、罪悪感をつのらせてしまうことがあります。

《よい対応の例》

決まった場所に大きな日めくりカレンダーを掛けておき、気持ちに余裕があったら、「今日は×日だね。」と一緒に納得するようにしましょう。

○介護のポイント：今がいつなのかという気持ちの表れで繰り返し聞いてくることを理解しましょう。

### 事例2

「あなたはどなたですか」 — 家族の顔が分からなくなることがある

《間違っただ対応の例》

「私を忘れたの?」「いや、××じゃないよ。」などと強く問い詰めたり、否定したりすると自尊心を傷つけ、感情が不安定になることがあります。

《よい対応の例》

「××ですよ。」と静かな対応を心掛けます。別な人と間違えられたら、その人になりきってしまった方がいい場合もあります。

○介護のポイント：否定よりもまずは受け入れて、肯定の気持ちで接しましょう。

### 介護者のつどい

とき [村上] 2月28日(木)  
ところ 市役所本庁2階  
相談室  
[神林] 3月5日(火)  
神林保健センター  
2階和室  
[朝日] 2月21日(木)  
朝日保健センター  
いずれも午後1時  
30分～3時30分  
対象者 市内在住の介護者  
参加費 100円  
申し込み 各開催日の3日  
前までにご連絡く  
ださい。

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111 (内線365) または各支所地域福祉課福祉室

# まちづくり

●問い合わせ 消防本部 ☎53-0119

## 平成24年 市内における火災などの状況について

平成24年中の市内の火災発生件数は、30件でした。火災種別ごとでは、建物火災(21件)、林野火災(1件)、車両火災(2件)、その他火災(6件)であり、地区別では村上地区(12件)、荒川地区(8件)、神林地区(4件)、朝日地区(4件)、山北地区(2件)です。前年よりも10件増加しています。救急車両の出動件数は、2404件で、昨年より125件ほど減少しています。主な内訳としては、急病(1518件)、一般負傷(281件)、交通事故(215件)などで搬送されました。特に高齢者の搬送が増加傾向にあります。

救助件数は、49件で、主な救助事例としては交通事故(30件)、水難事故(3件)などがありました。

まだまだ寒さが続き、ストーブなどの暖房器具を使用します。火の元には十分注意し、火災を起こさないよう気をつけましょう。



平成24年災害件数(毎月更新)

災害種別	12月	12月末までの累計	
		本年	昨年
火災	0件	30件	20件
救急	213件	2,404件	2,529件
救助	7件	49件	45件
その他の災害	20件	206件	237件

※その他の災害は「警戒」「調査」「水防」「その他(土砂災害・漏油事故)」「ポンプ車の救急出動」など



今回は、  
山北地区です



このコーナーでは、村上の未来を担う子どもたち、「わが家の宝」を紹介します。

2人とも歌や踊りが大好きで毎日家族を笑わせてくれます。

美海は、お絵かきにはまっていて、1月で1歳になった杏美は色々な事に興味を持ち、良いことも悪いこともお姉ちゃんの真似ばかりです。

こんな2人を毎日少しの時間でも子守りをしてくれる、おおおばあちゃんに、感謝の気持ちでいっぱいです。



富樫

健一さん (寢屋)  
敏子さん  
美海ちゃん (3歳)  
杏美ちゃん (1歳)

## 図書館ひろば

村上市立中央図書館 ☎53-7511

### 【中央図書館新着図書】

- ◆ 前世探偵カフェ・フロリアンの華麗な推理 (大村友貴美)
- ◆ 墓頭 (真藤順丈)
- ◆ ジョン・マン<3>望郷編 (山本一力)
- ◆ 李世民<上・下> (塚本青史)
- ◆ 破天の剣 (天野純希)
- ◆ ズッコケ中年三人組age47 (那須正幹)
- ◆ 完全黙秘の女-弁護士探偵物語- (法坂一広)
- ◆ 夢をかなえるゾウ<2> (水野敬也)
- ◆ 死の淵を見た男 (門田隆将)
- ◆ おいしい珈琲を自宅で淹れる本 (富田佐奈栄)

◆…一般書 ○…児童書

### 図書館職員のおすすめ本

手作りをプレゼント! もらってうれしいチョコレート

大瀬 由生子 著

2月14日はバレンタインデーです。日ごろお世話になっている人や家族に手作りチョコレートを贈ってみませんか? 初心者でも簡単に作れます。また、かわいいラッピングの仕方とも紹介しています。

- 心のおくりびと 東日本大震災復元納棺師 (今西乃子)
- 山に肉をとりに行く (田口茂男)
- 一さつのおくりもの (森山京)
- ふるさとをさがして-難民のきもち、寄り添うきもち- (根本かある)
- 生命科学の大研究-いのちの不思議を探ろう! - (田沼靖一)
- おばけのアッチとおしろのひみつ (角野栄子)
- プンダバーと会ったなら (くぼしまりお)
- 大魔法のすてきな呪文 (藤真知子)
- ケイン・クロニクル<3> (リック・リオードン)

### 雑誌付録プレゼントのお知らせ

中央図書館にある雑誌の付録を、抽選で45人にプレゼントします。

- 応募期間 2月2日(土)~28日(木) ※移動図書館車については3月3日(日)まで
- 応募方法 『図書館通信2月号』の裏面にある応募用紙に必要事項を記入の上、市内図書館(室)または移動図書館車まで提出してください。(応募用紙は、図書館のホームページからもダウンロードすることができます。)
- 発表 3月中旬以降に、ご本人に連絡します。
- その他
  - ① 応募は、図書館利用者カードをお持ちの人で、一人につき1点とさせていただきます。複数応募された場合は、全て無効となります。
  - ② 対象品につきましては、『図書館通信2月号』に掲載し、中央図書館内に実物を展示しています。
  - ③ 応募により預かった個人情報、ご本人への連絡のみに使用し、連絡後は廃棄します。



# ○おたんじょう

氏名(ふりがな)	届出人	町内会名または住所	氏名(ふりがな)	届出人	町内会名または住所
<b>村上地区</b>			<b>朝日地区</b>		
夢來(ゆら)	大越 敬一	瀬波温泉二丁目	芽依(めい)	松本 敬寛	下新保
楓生(ふう)	渡邊 博行	山辺里	真悠(まゆ)	佐藤 大志	板屋越
幸太郎(こうたろう)	川俣 敦史	高平	琉楓(るか)	玉木 建	宮ノ下
柚乃(ゆの)	高橋 かな	南町一丁目	結人(ゆいと)	高野 将和	朝日中野
結珠希(ゆずぎ)	船山 葵翼	久保多町	謙心(けんしん)	大谷 広和	布部
颯(そう)	横井 謙司	山辺里			
雪乃(ゆきの)	小池 賢	塩町			
航太(こうた)	大島 大亮	羽黒町	<b>山北地区</b>		
心晴(こはる)	鈴木 真一	仲間町	直典(なおみち)	齋藤 史典	北黒川
星成(せな)	青山 翔	山辺里	想太(そうた)	五十嵐 和俊	朴平
優月(ゆづき)	小川 翔	緑町五丁目			

## 神林地区

瑚冬(こと)	星野 浩通	松喜和
杳輝(とうき)	鈴木 謙輔	岩船駅前
琉生(るい)	佐藤 明宏	宿田
美佑(みゆ)	板垣 孝	殿岡

# ●おくやみ

氏名	年齢	町内会名または住所	氏名	年齢	町内会名または住所	氏名	年齢	町内会名または住所
<b>村上地区</b>			<b>荒川地区</b>			<b>朝日地区</b>		
佐藤 寛	74	飯野一丁目	小林 洲一	87	海老江	大滝 耕一	85	松岡
永田 紀	86	浜新田	齋藤 ナカ	90	坂町	貝沼 ハルヨ	87	堀野
菅原 勲	75	小国町	東海林 弘	92	佐々木	小田 イネ	88	下新保
岡村 スツイ	99	肴町	嵐 せつ子	49	藤沢	中山 與次	73	大須戸
田中 賢二	63	庄内町	保科 イチ子	64	藤沢	小田 久子	64	下新保
佐藤 キミエ	84	馬下	小林 シカ	82	大津	木村 稔	89	古渡路
小平 柴愛子	73	杉原	小池 昭男	69	長政	貝沼 寅勝	83	十川
平澤 明子	50	飯野一丁目	阿部 キン	88	貝附	遠山 尚武	72	高根
須藤 敬次郎	96	庄内町				高橋 シヅイ	95	大場沢
富樫 紀文	53	三之町	<b>神林地区</b>			板垣 マイ	90	大須戸
飯沼 辰雄	76	庄内町	中村 多一	86	上助瀨	富樫 久悦	77	本小須戸
相馬 安次郎	92	瀬波上町	小林 クニ	83	長松	小田 晃	57	下新保
佐藤 徹男	72	大栗田	内山 貞雄	60	桃川	菅原 オノイ	93	早稲田
上條 マツ	94	瀬波上町	吉村 トヲ	98	七湊	富樫 俊機	69	早稲田
船山 初江	84	久保多町	田中 マス	96	牛屋	川村 常	87	川端
鈴木 登志男	73	岩船上大町	武者 タケ子	92	宿田	大田 正三	90	黒田
村山 恭	89	岩船上大町	大矢 トヨノ	88	南大平	板垣 タツイ	96	薦川
横山 重一	70	羽下ヶ淵	佐藤 留吉	84	川部	鈴木 昭二	82	新屋
佐藤 富夫	74	片町	平山 俊一	85	高御堂	齋藤 百榮	77	新屋
飯嶋 ムツ	96	飯野一丁目	勝田 アヤ	88	七湊			
川村 森雄	82	下山田	板垣 敬吉	81	塩谷	<b>山北地区</b>		
佐藤 ヨシ	93	上の山	小田 キミ	82	長松	本間 タエ	78	桑川
長谷部 藤雄	82	早川	東海林 フミ	89	山屋	小田 節子	85	荒川口
伊賀 治朗	86	岩船上町	竹内 清吾	82	小口川	齋藤 スミ子	92	越沢
田中 チウ	102	飯野桜ヶ丘	田村 巳平	71	塩谷	石田 耕威	90	北中
石井 和夫	86	杉原	川崎 一二	86	北新保	富樫 キミ子	88	大代
大倉 カツ	93	早川	井上 芳夫	77	九日市	佐藤 富太郎	92	大毎
阿部 清一	69	新町	伊藤 イ	88	小出	五十嵐 カズ子	73	岩石
早川 ヨシイ	94	岩船下浜町				本間 忠義	79	府屋駅前通
緑川 厚一	72	岩船上大町				佐藤 ヨシノ	98	大沢

※12月11日から1月10日までの届け出です(敬称略)※保護者やご遺族などの了解を得て掲載しています

人口と世帯数(1月1日現在)  
( )内は前月比

人口 31,765人(△27)

世帯 34,629人(△43)

計 66,394人(△70)

世帯 22,938世帯(△20)

# 村上の

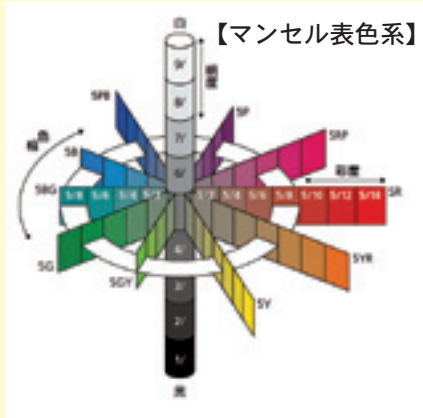
# ふるさと景観スポット ⑪

現在策定している「村上市景観計画」で、村上らしい景観特性と考えられる景観を紹介いたします。今回のテーマは「色彩」です。

## ■景観と色彩

景観は、さまざまな色彩が互いに関係し合いながら一つの場面を形成しています。建物の色合いは周囲の景観との馴染みやすさに影響し、鮮やかさは町並みの秩序形成に影響を与えます。

景観計画では、「マンセル表色系」という世界的に統一された色彩の数値基準を使用します。



小俣地区



猿沢地区

景観計画では建物の外壁は、落ち着いた色のある黒・茶系を推奨します。特に重点地区では、歴史的建造物と調和するような板張りや、塗壁は白色またはベージュ系の色彩を推奨します。

## 【マンセル表色系の見方】

- ・色相(色の様相) : R(赤),Y(黄),G(緑),B(青),P(紫)とその中間色のYR, GY, BG, PB, RPの計10種と、その度合を0~10で組み合わせ5R, 10YRのように示しています。
- ・明度(色の明るさ) : 0~10の数値で示し、小さいほど暗く、大きいほど明るくなります。
- ・彩度(色の鮮やかさ) : 0~16の数値で示し、鮮やかな色ほど数値が大きく、白・黒などの無彩色は0となります。

## ●問い合わせ

都市整備課計画室 ☎53-2111 (内線512・513)

※景観計画は、村上らしい魅力的な景観形成の目標、方針などに関する事項を定めるものです

## 編集後記

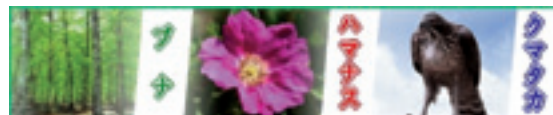
▶寒い日が続いています。今年もインフルエンザが猛威をふるっています。▶皆さんはインフルエンザの予防接種を受けましたか。実は私、まだ接種を受けていません。たまたま接種を受ける余裕というか機会がないだけなのですが、「自分もかかるのでは」と心配で仕方ありません。早めに予防接種を受け、外から帰ったときは手洗いとうがいをキチンとするなど予防に努めたいと思います。⑥

## 今月の表紙

広大な面積を有する村上市は、四季の変化と豊かな自然に恵まれています。

神林地区の大池には、毎年1000羽以上の白鳥が飛来し、地元の人や観光客の目を楽ませています。普段は愛嬌のある白鳥ですが、湖面を飛び立ち大空に舞う姿は、野生の力強さと美しさを見せてくれます。

市の木・花・鳥(平成23年1月20日制定)



## むらかみ防災・防犯情報ねっと

メールでいつでもどこでも緊急情報をキャッチ!  
<http://www.city.murakami.niigata.jp/i/ml/>  
右のQRコードで読み取るだけで簡単アクセス



編集・発行 村上市政策推進課  
〒958-8501 新潟県村上市三之町1番1号  
☎0254(53)2111内線531 FAX 0254(53)3840



市報むらかみは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい大豆インクを使用しています。

印刷 村上印刷株式会社